

株式会社 ミスズライフ

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)



2024/11/1 作成

株式会社 ミスズライフ 環境経営方針

当社はぶなしめじの生産事業者として、自然と共生する循環型農業を展開しています。

また、環境との調和・共存を図り、地域の環境活動保全活動に積極的に取り組むことで自然環境への負荷低減を図っていきます。

そして、継続的な改善による環境経営を推進します。

1. 当社は法令遵守に努め、全事務所・全従業員による自主的かつ継続的な環境活動に取り組みます。
2. 当社は、省エネ活動で二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 資源を大切にするとともに廃棄物の削減・リサイクルの推進に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. 製品を通して、お客さまの省エネ・省資源を支援します。
6. 発生済み培地を利用した循環型農業を継続することで、環境にやさしい取り組みを維持します。

制定日： 2023年7月1日

株式会社 ミスズライフ

代表取締役社長 清水 周英



□ 登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社ミスズライフ
代表取締役社長 清水 周英

(2) 所在地

本社：長野県上水内郡飯綱町大字赤塩204-2
白鳥工場：長野県下水内郡栄村大字豊栄215
黒姫工場：長野県上水内郡信濃町大字平岡156-2
飯綱工場：長野県上水内郡信濃町大字大井2727
津南工場：新潟県中魚沼郡津南町大字谷内3782
能登工場：石川県鳳珠郡穴水町旭ヶ丘り36-1
西海工場：長崎県西海市西海町中浦北郷2478-1
アルプス工場：長野県上水内郡信濃町大字平岡156-1
那須工場：栃木県那須塩原市高林字巻川西1251-18

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 品質保証室 室長 若林 偉功 TEL：080-4917-5195
担当者 品質保証室 室長 若林 偉功 TEL：080-4917-5195

(4) 事業内容（認証・登録の範囲）

ぶなしめじの生産および販売

(5) 事業の規模

製品出荷額 46.1億円（飯綱工場8.1億円、黒姫工場5.8億円、アルプス工場6億円
白鳥工場5.7億円、津南工場4.4億円）
主要製品生産量 7,200 t（飯綱工場1,272 t、黒姫工場903 t、アルプス工場932 t
白鳥工場 893 t、津南工場685 t）

	本社	飯綱工場	黒姫工場	ALPS工場	白鳥工場	津南工場	能登工場	西海工場	那須工場
従業員（名）	26	35	22	22	19	21	25	33	24
延べ床面積(m ²)	3,465	5,483	3,908	5,542	2,392	3,227	5,880	5,258	5,558

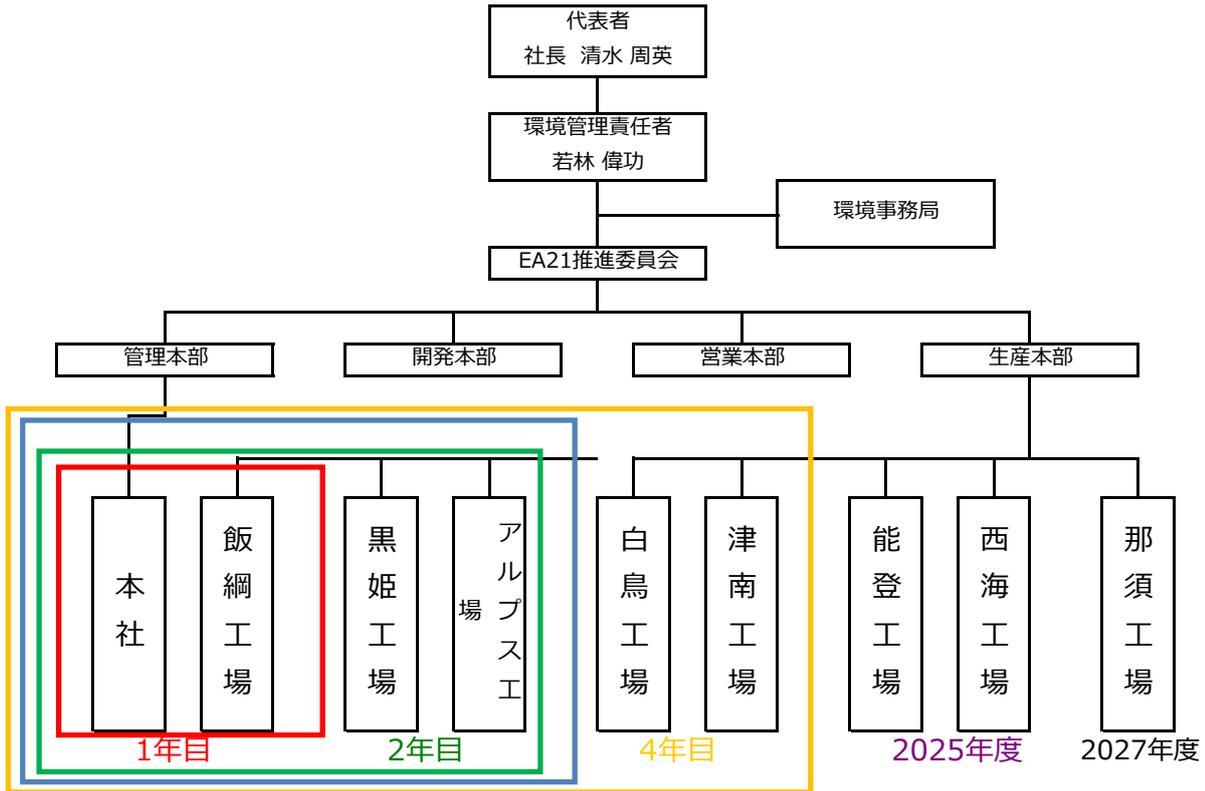
(6) 認証登録範囲

本社、飯綱工場、黒姫工場、アルプス工場、白鳥工場、津南工場
※ 段階認証で順次拡大を進めて来ましたが、今期活動期間中の2024年1月に発生した能登半島地震での被災に伴う復旧作業により、能登工場並びに西海工場の認証登録が2025年度に遅延しました。
また、2023年に設立した那須工場は、2025年度から環境負荷情報の収集を開始し、2027年度に登録を計画しています。

(7) 事業年度

4月～3月

株式会社ミスズライフ 組織の役割と権限



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 環境経営目標・環境経営計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 環境経営目標・環境経営計画書を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境経営レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境経営方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

本 社

□ 主な環境負荷の実績【全社】

項目	単位	2020年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,534,053	4,171,208	4,347,580	6,515,337		
産業廃棄物排出量	kg	27,566	28,099	21,412	24,040		
総排水量	m ³	14,157	22,633	19,306	25,142		

※ 2021、2023年度は対象範囲拡大に伴い2020年度比で増加

□ 環境目標及びその実績【本社】

基準年度のみ中部電力2019年度CO2排出係数:0.426、以降は2020年度0379を使用

項目		年 度		2019年度	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度
		目標	実績	基準年度	実績	実績	評価	計画	計画
電力の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	212,693	210,566	208,439	◎	206,312	204,185	
	実績	212,693	191,216	124,682	—		—		
	基準年度比	—	91%	60%	97%		96%		
化石燃料の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	199,944	197,945	195,945	◎	193,946	191,946	
	実績	199,944	147,207	186,802	—		—		
	基準年度比	—	74%	95%	97%		96%		
上記二酸化炭素 排出量合計	目標	kg-CO ₂	412,637	408,511	404,384	◎	400,258	396,132	
	実績	412,637	338,423	311,484	—		—		
	基準年度比	—	82%	77%	97%		96%		
産業廃棄物 (廃プラ等)の削減	目標	kg	2,830	2,802	2,773	△	2,745	2,717	
	実績	2,830	3,788	5,595.0	—		—		
	基準年度比	—	134%	202%	97%		96%		
節 水	目標	m ³	259	256	254	△	251	246	
	実績	259	560	560.2	—		—		
	基準年度比	—	216%	221%	97%		95%		

100%以下=◎ / 101%~110%=○ / 111%~=△

■ 化石燃料の使用量減少について

- ・昨年度自社集荷便トラックを買い替え積載量が増加。一部配送方法を見直し運送効率を向上させた。
- ・ZOOM等オンライン商談が増加しているが、コロナ明けで各工場等へ訪問する機会などが増え、社用車の使用率が上がってきた。

■ 廃棄物の増加について

- ・一定量をまとめて委託するため、比較は困難。
- ・パレットの修繕、廃棄などで木くずが増加した。

■ 水道の使用量増加について

- ・カンボジア実習生の寮2拠点が本社管轄となったため増加。

飯綱工場

□ 主な環境負荷の実績【飯綱工場】

項目	単位	2019年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,272,572	412,068	1,526,297	1,583,137	1,653,533	
産業廃棄物排出量	kg	3,377	356	891	1,773	950	
総排水量	m ³	17,698	4,496	17,946	12,049	16,335	

□ 環境目標及びその実績【飯綱工場】

基準年度のみ中部電力2019年度CO2排出係数:0.426、以降は2020年度0379を使用

項目	年度		2019年度	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度
	目標	実績	基準年度	実績	実績	評価	計画	計画
電力の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	1,272,572	1,234,395	1,221,669	◎	1,208,943	1,208,943
	実績	kg-CO ₂	1,272,572	1,200,088	968,508		—	—
	基準年度比		—	94%	76%		95%	95%
化石燃料の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	393,557	381,750	377,815	△	373,879	373,879
	実績	kg-CO ₂	393,557	383,049	422,978		—	—
	基準年度比		—	97%	112%		95%	95%
上記二酸化炭素 排出量合計	目標	kg-CO ₂	1,666,129	1,616,145	1,599,484	◎	1,582,822	1,582,822
	実績	kg-CO ₂	1,666,129	1,583,137	1,391,486		—	—
	基準年度比		—	95%	84%		95%	95%
産業廃棄物 (廃プラ等)の削減	目標	kg	3,377	3,276	3,242	◎	3,208	3,174
	実績	kg	3,377	1,773	950		—	—
	基準年度比		—	53%	28%		95%	94%
節 水	目標	m ³	17,698	17,167	16,990	◎	16,813	16,636
	実績	m ³	17,698	12,049	16,335		—	—
	基準年度比		—	68%	92%		95%	94%

100%以下=◎ / 101%~110%=○ / 111%~=△

【環境負荷の状況】

※2020年度はトライアル期間のため2020年9月~2021年3月までの数値

- ・環境活動により全員の環境意識は全体的に高い。
- ・気温上昇により空調設備の稼働率が上がり電気の使用量は昨年度より増えている。
- ・水道使用に関し、井水の利用ができないため他工場と比べて恒常的に消費が多い。

黒姫工場

□ 主な環境負荷の実績【黒姫工場】

項目	単位	2020年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,181,113	1,180,603	1,177,281	1,215,903	
産業廃棄物排出量	kg	22,305	21,175	14,489	4,880	
総排水量	m ³	2,483	1,954	3,349	2,574	

□ 環境目標及びその実績【黒姫工場】

中部電力2020年度CO2排出係数:0.379(調整後)

項目	年度		2020年度	2023年度		2024年度	2025年度
	目標	実績	基準年度	実績	評価	計画	計画
電力の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	810,226	785,919	○	777,817	777,817
	実績	kg-CO ₂	810,226	842,794		—	—
	基準年度比		—	104%		96%	96%
化石燃料の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	370,887	359,761	○	356,052	356,052
	実績	kg-CO ₂	370,887	372,929		—	—
	基準年度比		—	101%		96%	96%
上記二酸化炭素 排出量合計	目標	kg-CO ₂	1,181,113	1,145,680	○	1,133,869	1,133,869
	実績	kg-CO ₂	1,181,113	1,215,723		—	—
	基準年度比		—	103%		96%	96%
産業廃棄物 (廃プラ等)の削減	目標	kg	22,305	21,636	◎	21,413	21,413
	実績	kg	22,305	4,880		—	—
	基準年度比		—	22%		96%	96%
節 水	目標	m ³	2,483	2,409	○	2,384	2,384
	実績	m ³	2,483	2,574		—	—
	基準年度比		—	104%		96%	96%

100%以下=◎ / 101%~110%=○ / 111%~=△

【環境負荷の状況】

- ・ 環境活動により全員の環境意識は全体的に高い。
- ・ 気温上昇により空調設備の稼働率が上がり電気の使用量は昨年度より増えている。
- ・ 外気温の上昇により生育室内の加湿器稼働時間が上がり使用水量が増加した。

アルプス工場

□ 主な環境負荷の実績【アルプス工場】

項目	単位	2020年度	2021年度 (基準年度)	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	753,734	1,200,741	1,248,739	1,285,984	
産業廃棄物排出量	kg		948	1,363	4,880	
総排水量	m ³	2,574	2,574	3,349	2,574	

□ 環境目標及びその実績【アルプス工場】

中部電力2020年度CO₂排出係数:0.379(調整後)

項目	年度		2021年度	2023年度		2024年度	2025年度
	目標	実績	基準年度	実績	評価	計画	計画
電力の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	763,863	748,585	△	740,947	733,308
	実績	kg-CO ₂	763,863	826,575		—	—
	基準年度比		—	110%		97%	96%
化石燃料の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	436,878	428,141	○	423,772	419,403
	実績	kg-CO ₂	436,878	459,409		—	—
	基準年度比		—	107%		97%	96%
上記二酸化炭素 排出量合計	目標	kg-CO ₂	1,200,741	1,176,726	○	1,164,719	1,152,711
	実績	kg-CO ₂	1,200,741	1,285,984		—	—
	基準年度比		—	109%		97%	96%
産業廃棄物 (廃プラ等)の削減	目標	kg	948	929	△	920	910
	実績	kg	948	4,880		—	—
	基準年度比		—	525%		97%	96%
節 水	目標	m ³	2,574	2,523	○	2,497	2,471
	実績	m ³	2,574	2,574		—	—
	基準年度比		—	102%		97%	96%

100%以下=◎ / 101%~110%=○ / 111%~=△

【環境負荷の状況】

- ・本工場は冷凍製品の製造をすべく設計されており、本年度は冷凍製品の生産がメインになったため、電気・水道の使用量が増加した。
- ・基準年度の産廃については黒姫工場に計上されていたが、現在按分されているため増加。

白鳥工場

□ 主な環境負荷の実績【白鳥工場】

項目	単位	2023年度 (基準年度)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,182,728				
産業廃棄物排出量	kg	6,290				
総排水量	m ³	3,099				

□ 環境目標及びその実績【白鳥工場】

中部電力2023年度CO2排出係数:0.421(調整後)

項目	年度		基準年度	2024年度		2025年度	2026年度
	目標	実績		実績	評価	計画	計画
電力の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	923,337	914,103		904,870	895,637
	実績	kg-CO ₂	923,337			—	—
	基準年度比		—	0%		98%	97%
化石燃料の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	259,391	256,797		254,203	251,609
	実績	kg-CO ₂	259,391			—	—
	基準年度比		—	0%		98%	97%
上記二酸化炭素 排出量合計	目標	kg-CO ₂	1,182,728	1,170,901		1,159,073	1,147,246
	実績	kg-CO ₂	1,182,728	0		—	—
	基準年度比		—	0%		98%	97%
産業廃棄物 (廃プラ等)の削減	目標	kg	6,290	6,227		6,164	6,101
	実績	kg	6,290			—	—
	基準年度比		—	0%		98%	97%
節 水	目標	m ³	3,099	3,068		3,037	3,006
	実績	m ³	3,099			—	—
	基準年度比		—	0%		98%	97%

100%以下=◎ / 101%~110%=○ / 111%~=△

【環境負荷の状況】

- ・本工場は生鮮と冷凍製品の製造をしており、夏季に冷凍製品をメインに生産するため夏季の電気使用量が多くなる。

津南工場

□ 主な環境負荷の実績【津南工場】

項目	単位	2023年度 (基準年度)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	865,706				
産業廃棄物排出量	kg	1,445				
総排水量	m ³	0				

□ 環境目標及びその実績【津南工場】

東北電力2023年度CO2排出係数:0.402(調整後)

項目	年度		2024年度		2025年度	2026年度
	目標	実績	実績	評価	計画	計画
電力の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	594,864	◎	582,967	577,018
	実績	kg-CO ₂	594,864		—	—
	基準年度比		—		0%	98%
化石燃料の二酸化炭素 排出量削減	目標	kg-CO ₂	270,842	◎	265,425	262,716
	実績	kg-CO ₂	270,842		—	—
	基準年度比		—		0%	98%
上記二酸化炭素 排出量合計	目標	kg-CO ₂	865,706	◎	848,391	839,734
	実績	kg-CO ₂	865,706		—	—
	基準年度比		—		0%	98%
産業廃棄物 (廃プラ等)の削減	目標	kg	1,445	◎	1,416	1,402
	実績	kg	1,445		—	—
	基準年度比		—		0%	98%
節水	目標	m ³	0	◎	0	0
	実績	m ³	0		—	—
	基準年度比		—		0%	98%

100%以下=◎ / 101%~110%=○ / 111%~=△

【環境負荷の状況】

- ・本工場には上水が通っていないため使用水は井水100%、使用量の把握を検討中。

□ 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・冷房温度28℃設定とクールビズ運動	△	コロナの影響で換気を維持するため、冷房28℃暖房20℃設定は体調不良を招く恐れがあると判断し、今期引き続き中断した。 昼休みの消灯は定着したため、今後も継続する。 冬場・夏場は窓からの冷気・暑い空気を防ぐため、ブラインド等の設置を検討する。
・暖房温度の20℃設定とウォームビズ運動	△	
・昼休みの消灯	◎	
・不要照明の消灯	○	
・OA機器の省エネモード設定	○	
・生産設備のムダ防止	○	
・圧縮空気洩れの定期点検・修理	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・アイドリングストップ	○	猛暑により冷房の控え目使用は体調不良につながるため一旦中止とした。
・急加速の抑制	○	
・冷暖房の控えめ使用	△	
一般廃棄物の削減		
・分別ボックスの設置	◎	分別BOXを引き続き活用し分別を推進。 裏紙利用はこれまで通り積極的に行う。
・裏紙使用	◎	
産業廃棄物（廃プラ）の削減		
・工程ロスの削減	△	工程ロスの削減は、今後の課題として取り組んでいく。
・マニフェストによる適正処理	○	
・分別の徹底による有価物化	△	
節水		
・洗浄工程の改善	△	生産工程で使われる水は削減できないが、その他で使用する水は、節水に取り組む。
・手洗い水量の適正化	○	
グリーン購入		
・グリーン購入法適合品の購入を推進	△	グリーン適合商品の購入を推進する。
製品への環境配慮		
・石突やトレーがない商品の提供を維持	◎	石突やトレーがない商品を提供しており、消費者のゴミの量の削減に貢献している。
社会貢献（CSR）		
・本社社屋周辺のごみ拾い	△	各工場所在地の自治体へ図書への寄贈を行った。 工場・社屋周辺の草刈りを、定期的に行った。
・工場周辺の草取り・ごみ拾い	○	
・学校図書の購入費用の寄贈を実施	◎	

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	判定
廃棄物処理法	産業廃棄物（金属屑、廃プラ、廃ガラス、木くず等）	○
消防法（危険物）	重油・灯油の保管、管理と届出	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の点検	○
省エネ法	令和4年5月に特定事業者指定	○
容器包装リサイクル法	日本容器リサイクル協会へ委託	○

* 環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

令和6年10月30日 若林 偉功

□ 代表者による全体の評価と見直し

取り組み状況の評価

見直しに必要な情報項目	確認した記録等	評 価
		*有効に機能しているか *適切に実施されているか
1.環境負荷及び取組状況	環境への負荷の自己チェック 環境への取組の自己チェック	データは月次で継続して収集してください。
2.環境目標・活動計画実施状況	環境経営目標 環境経営計画書	数値目標を達成すべく、決められたアクションの内容を一つひとつしっかりと展開していきましょう。
3.環境関連法規等遵守状況	環境関連法規等一覧表 /遵守評価	「省エネ法」の特定事業者の指定を受け、省エネルギー計画を策定し推進していきましょう。
4.苦情・異常・要望 (近隣・取引先・行政)	苦情・異常及び製品回収処理表	西海工場にて大手取引先より立て続けに商品クレームが発生しましたが、HACCPチームを中心に大幅な改善に取り組み、視察の際はお褒めの言葉をいただくまでに信頼回復できました。
5.その他		2工場が拡大され、環境活動をより本格的に進める段階になりました。引き続き従業員一丸となって目標達成に向け取り組みを推進していきましょう。

環境管理責任者への指示

指示事項	変更の必要性	指示内容
1.環境方針	あり / (なし)	現時点の活動で、問題ないと判断します。
2.環境目標	あり / (なし)	現時点の活動で、問題ないと判断します。
3.環境活動計画	あり / (なし)	現時点の活動で、問題ないと判断します。
4.環境経営システム(EA21全体)	あり / (なし)	現時点の活動で、問題ないと判断します。
5.その他		環境方針の趣旨を良く理解し、環境活動計画を必ず実践して下さい。更なる化石燃料の削減に取り組みましょう。

株式会社ミスズライフ 社会貢献活動（CSR）

❖ 2023年度

- ・環境保全活動として、各工場・事業所の草刈り及び清掃活動を3～4回実施。
- ・工場所在の各自治体へ図書寄贈活動を行った。



飯綱町



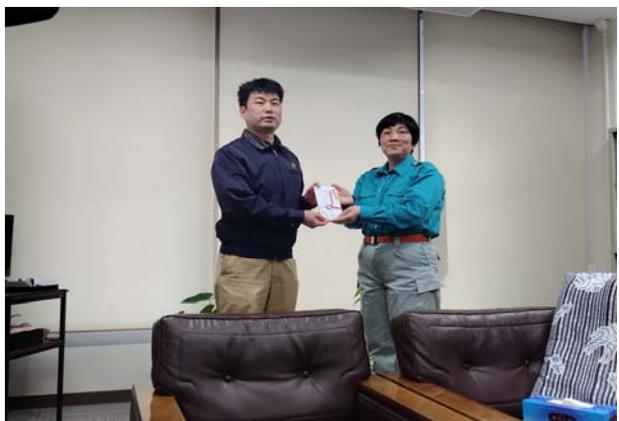
信濃町



津南町



栄村



石川県 穴水町



長崎県 西海市



栃木県 那須塩原市

- ・工場所在の各自治体給食センターへ、生産するぶなしめじの寄贈活動を行った。